

第7号

酪農

とちぎ



## 錦秋の那須高原

紅葉前線の南下と共に、  
那須の山々も日増しに彩や  
かな秋景色となりました。

各放牧場とも夏季放牧牛  
はずでに里帰りし、周年牛  
がのんびりと錦秋を満喫し  
ています。

今や、すっかり定着した  
「農産物直売所」には、旬  
の山菜・野菜・果物の味覚  
が漂う。「食の安全」を求め  
る消費者にとって、生産者  
の顔が見える地場産品は人  
気があり、各地の直売所は  
活気がみなぎっている。

皆様には秋の収穫作業を  
終え、一息つく暇もなく牧  
草播種・稲ワラ収納等の連  
日かと察します。

とかく、季節の変わり目  
は乳牛・人にとっても体調  
を崩しやすいので、健康管  
理に留意しましょう。



# 最新鋭乳成分測定機 那須高原・宇都宮CSに導入

既に組合員の皆様にはお知らせ

しておりますが、このたび最新鋭の乳成分測定機「コンビフォス FT6300UW/5300」一式を導入し、宇都宮CS並びに那須高原CSに設置致しました。

現在、機器については、万全な検査体制とする為、充分な校正をかけ準備を進めております。

実稼働につきましては、十一月一日から新機器に移行し、新様式の報告書にてお知らせします。

新コンビフォスの検査項目につきましては、ミルコスキャン、フォソマチック、コンベア・ピペットユニットから構成され、今までの脂肪・蛋白質・乳糖・固形分・及び体細胞数に加え、新たに尿素・氷結浸透圧となっております。

測定能力は一時間あたり三百検

体測定でき、パソコンシステムと一体となった国内では最新鋭の機器です。今回の測定機の設置により、高度で正確な乳成分測定のため、新たに牛乳中尿素態窒素、MUN

及び浸透圧が測定されます。従いまして、今後は定期検査毎に測定し報告いたします。

MUNは、乳牛が摂取した飼料中のタンパク質とエネルギーが適量かどうかを知るのに有用な指標です。摂取した飼料中のタンパク質とエネルギーの量とバランスを知ることにより、最適な飼料設計に役立ちます。飼料設計の微調整にMUNをうまく利用すれば、良質乳の生産を維持しながら飼料コストを低減することが可能となる



コンビフォスFT6300UW

でしょう。

また、浸透圧が基準値未満の出荷乳につきましては洗浄水等外部からの混水が疑われますので、原因究明と改善指導を実施して参ります。尚、当組合の生乳乳質保全規定による浸透圧の基準値は二七六ミリオスモル以上です。導入した検査機器は今後の乳質向上に貢献できるものと期待しております。

黒羽事業所

三十六年の幕を閉じる

昭和四十一年CSとして創業し、



その後集送乳合理化により飼料供給基地として利用して来ましたが、この度三十六年間の役割を経て十月九日、地元役員及び支部役員が参席して閉所式を行いました。閉所にあたりましては、かねてより県北地域合理化検討委員会で慎重な協議を重ねて参りましたところですが、地元組合員皆様のご理解とご協力を得て行われたもので、三月の五軒町事業所に続く閉所になりました。





# 乳牛飼養動態調査より

九月一日現在の乳牛飼養動態調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

出荷者は七三九戸、期中における酪農中止者が十八戸（二・四％）ありましたが、組合間の移動による増加が十八戸ありましたので、前年と同数になっています。

飼養総頭数は三九、九二二頭と前年より二、一三四頭の増加があり、一戸当りの飼養頭数は、二・九頭増の五四頭になりました。

内訳を見ますと、経産牛が一、七一一頭（六・五％）増加していますが、これはBSE問題で搾乳牛の更新が遅れているものと推察されます。これらの現象により、一頭当りの乳量が前年より減少傾向となっておりです。一方、育成牛は四一五頭の増加となり、飼養牛に占める割合は約二二％になっ

ています。生乳生産及び乳成分を高めるには、牛群改良等を着実に進めることが肝要であり、後継牛を自家生産することも重要と考え

ます。今後も初妊牛価格の高値は続くと思われるので、今まで以上に労力軽減・過剰投資の抑制を図る観点から放牧・預託事業を活用し、後継牛の確保、並びに個体の能力アップに努めて行きたいところです。

今後の分娩予定頭数については、十一月を除いて毎月若干の増加傾向にあり、今年度の生乳生産計画は概ね達成可能かと予測されます。しかしながら、育成牛割合が二二％と低いため来年度以降の生産量が懸念される状況ですので、育成牛保有率の向上を図ると共に、初妊牛の導入計画を立てられますようお願い致します。

## 乳牛飼養動態調査表

平成14年9月1日現在

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数						合計	1戸平均飼養頭数
			成牛				育成牛未種付牛	外部預託牛		
			搾乳	乾乳	初妊	小計				
那須高原支所	H14.09	435	14,197	2,292	2,060	18,549	4,418	1,140	24,107	55.4
	(構成比)		58.9%	9.5%	8.5%	76.9%	18.3%	4.7%		
	H13.10	421	12,896	2,017	1,943	16,856	3,903	1,171	21,930	52.1
	(構成比)		58.8%	9.2%	8.9%	76.9%	17.8%	5.3%		
増減	14	1,301	275	117	1,693	515	-31	2,177	3.3	
宇都宮支所	H14.09	139	3,898	779	647	5,324	1,336	418	7,078	50.9
	(構成比)		55.1%	11.0%	9.1%	75.2%	18.9%	5.9%		
	H13.10	145	4,034	695	701	5,430	1,394	372	7,196	49.6
	(構成比)		56.1%	9.7%	9.7%	75.5%	19.4%	5.2%		
増減	-6	-136	84	-54	-106	-58	46	-118	1.3	
栃木県南支所	H14.09	165	5,885	917	592	7,394	1,025	318	8,737	53.0
	(構成比)		67.4%	10.5%	6.8%	84.6%	11.7%	3.6%		
	H13.10	173	5,624	991	647	7,262	1,092	308	8,662	50.1
	(構成比)		64.9%	11.4%	7.5%	83.8%	12.6%	3.6%		
増減	-8	261	-74	-55	132	-67	10	75	2.9	
合計	H14.09	739	23,980	3,988	3,299	31,267	6,779	1,876	39,922	54.0
	(構成比)		60.1%	10.0%	8.3%	78.3%	17.0%	4.7%		
	H13.10	739	22,554	3,703	3,291	29,548	6,389	1,851	37,788	51.1
	(構成比)		59.7%	9.8%	8.7%	78.2%	16.9%	4.9%		
増減	0	1,426	285	8	1,719	390	25	2,134	2.9	



# 粗飼料生産地

## 視察レポート

全酪連粗飼料事業推進研究会主催による主産地粗飼料事情調査員として九月十二日～二〇日、米國、カナダの粗飼料生産地を視察して参りましたので、現地の粗飼料事情を報告致します。

インペリアルバレーはカリフォルニア州東南端のメキシコ国境に位置する地域で、スーダン、クレイングラス、バミューダー等が栽培されています。スーダンについては、春先の低温及び日本からの品質への強い要求（細茎、色抜け、嗜好性を増幅させるための施肥量抑制）から来るコストアップ（播種量増加、収量減少）により他作物への転換が進み、早播きの作付面積が南カリフォルニアでは十七

%減、中部カリフォルニアでは五〇%減と大幅な減少とのことでした。つまり、全体として早刈りにより茎の細い物が増え、嗜好性が改善されたライトカラーが減るとともに供給量も減る傾向です。クレイングラス、バミューダーは品質が安定していました。



スプリンクラーによる灌漑

ワシントン州でのアルファルファ、チモシーは、コロンビア川の水を使った灌漑（スプリンクラー）を利用し栽培が行われていました。

アルファルファは、春先の低温により生育が遅れていたところに収穫期に雨が降り、一、二番刈に大きなレインダメージが発生しました。三番及び四番刈の収穫済の圃場（視察時四番刈の終盤であった）では良好な作柄に回復したものの、コロンビアベースンをはじめ主産地で雨被害が大きくなっており、良品質ものが少なく米国内需要も活発化している様です。

コロンビアベースンのチモシーの一番草は、アルファルファと同様一番刈の適期であった六月の降雨により、七〇～七五%レインダメージが発生し良質品がかなり、少ない状況でした。エレンズバークの一番草は、コ



前列右から2番目が北山

ロンビアベースンより良い状況ではあるが、三五～四〇%のレインダメージが発生したようです。全体としてグレードNO1級が多く、プレミアムとグレードNO2級が少ない状況であるとのこと。二番草は五〇%が収穫済みで品質も良いが、三〇%は三ヶ月ぶりの雨により収納できず、二〇%がこれから刈取という状況でした。

次号に続く

（宇都宮支所経済課長北山正一）



# 東西南北

## 那須高原支所

家畜糞尿等の完全燃焼装置の実演会が開催される。

去る十月十七・十八日に黒磯市青木のグラウンドにおいて糞尿等の完全燃焼型巡回式燃焼装置の実演会がメーカー主催により開催されました。



巡回式燃焼装置

の燃焼装置は価格的に高額のため酪農家個々が導入できるシステムではないと思いますが、糞尿以外にも種々の廃棄物を処理出来るとあつて参加者一同興味深く見入っておりました。糞尿を燃やしてしまうのはもったいないと思うかもしれませんが、糞尿処理対策の一手段として考えてもいいのではないのでしょうか。

## 宇都宮支所

後継牛は、自家産で

宇都宮市のK牧場は、成牛七十頭、育成牛三十頭を、フリーストール牛舎一棟、育成舎二棟、カウハッチ十台で飼養しています。この他にも預託牛が十五頭あります。この牧場には、エクセレント牛が五頭あり、全国共進会や関東地区B&Wシヨウをはじめ各共進会でも上位の成績を収め、牛群検定でも一頭当たりの泌乳量は九千六百kg以上の実績を挙げています。しかもほとんどの牛が自家産であり、導入牛は数年前に育成牛を一頭輸入しただけです。このような牛群改良成果は自家育成にあると思えます。と言つても特別な技術で育成しているのではなく、現在言われている育成方法を忠実に実行しているのです。



先ずは哺乳牛（現在十頭）をカウハッチで個体管理し、カウコンフォートを重視し（より快適なカウハッチの改造を業

者と思索中）

ハッチの設置場所は日当たりの良い圃場に砕石などで盛り土を行い、床が常に乾燥し易いように工夫している。（一）



ここで約三十五日哺乳し、その後は概ね五頭単位で、育成舎で群飼いをしています。この場所も日当たりの良い南に面した場所です。ここで約三ヶ月程飼養し預託に出します。ただ、入牧時期とその時の月齢等の関係で預託条件に合わず出せない育成牛もいますが、極力預託に出すよう努めています。つまり、この三、四ヶ月齢までの哺乳、育成が前述のような高成績を収めるポイントになっているようです。哺乳期に下痢をさせたり、育成期の牛体、四肢の汚れが発育に悪影響し、成育度合いが一定でないと牛の持つ能力を将来十分発揮出来ないのではないかと。如何にその牛にあつた育成をしてやるか、またどれだけ手間を掛けてやるか。そうすれば牛はその分必ず働いてくれるはずですよ。

## 栃木県南支所

夏季を過ぎたあとの繁殖成績向上に努めましょう

繁殖には蛋白質やエネルギーの充足と栄養管理が必要となります。夏季の疲労回復に向けた飼料給与に配慮されていると思いますが、ビタミンの補給も重要な役割を果たします。A、Eはホルモン合成や分泌に関与し、特にEの不足は卵巣上皮組織の角質硬化して排卵不全を起こします。

Dも代謝に関与していますので、繁殖検診を行ないプログラムに応じたビタミンADEを十分に補給して卵巣機能回復を図ることが肝要です。

繁殖成績は酪農経営に大きく影響しますので、栄養管理状態や周産期疾患の予防に努めたいきめ細かな繁殖管理を行なうことがポイントです。

### 祝・結婚

一宮町の片桐一嘉さんが十月十二日に新婦聖子さんを迎えられ、結婚されました。末長くお幸せに。

### 祝・誕生

芳賀町の大島秀樹・真希絵さんご夫妻に九月十一日長女・瑞葵ちゃんが誕生いたしました。健やかに成長されますように。



# 部課だより

## 生乳販売部

今夏の猛暑により、生乳の最需要期である九月の生産が大変心配されておりましたが、組合員各位の需要期増産に対する取り組みの成果により前年比6%増という大幅な伸びとなりました。

その最大な要因として組合員の移動加入（十八戸）により達成されたもので、実質では3%増となります。支所別でみますと、那須高原支所においては、組合員の加入もあり8%の増加、宇都宮支所は、猛暑の影響から3%減と生産が落ち込みました。

県南支所においては大規模経営における増頭等の努力により、8%増と大幅な伸びとなりました。

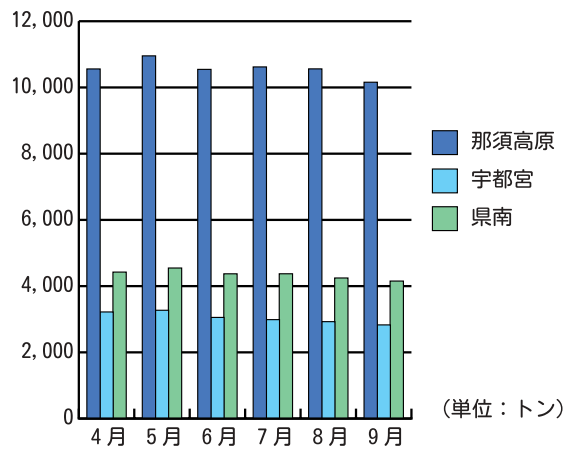
過日実施しました乳牛飼養調査結果をみますと、現状の日量で推移すれば前年度を上回る生産量が期待されます。

しかしながら乳質においては、細菌数は日頃の衛生的管理の努力により平均3・36万と向上しておりますが、脂肪率・無脂乳固形分等の成分及び体細胞数につきましては、猛暑の影響を受け前年より若干低下しております。

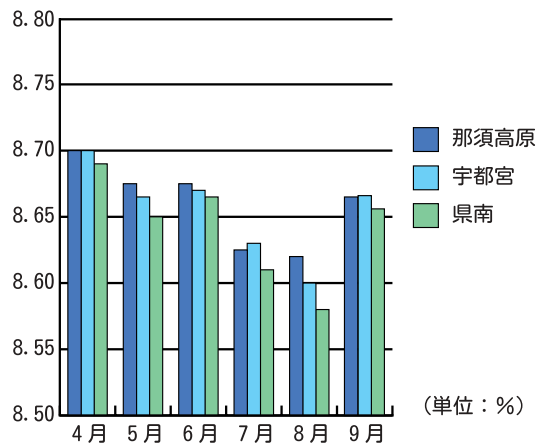
暑さも過ぎ乳牛にとっては良い季節となりましたが、乳牛の飼養管理に努め乳成分及び衛生的乳質の回復に努めて頂くようお願いするものです。九月までの乳量及び乳質成績の推移は下記のとおりです。



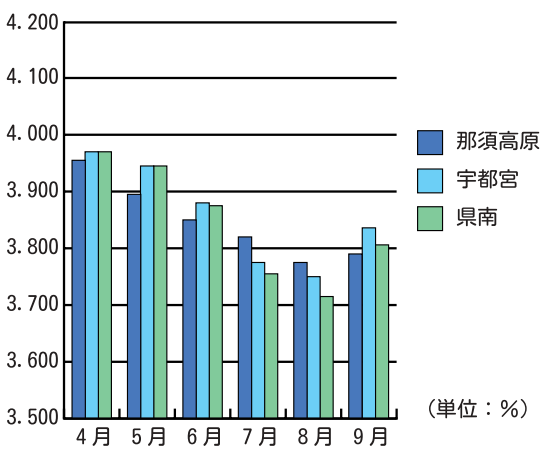
### ◆ 乳量の推移



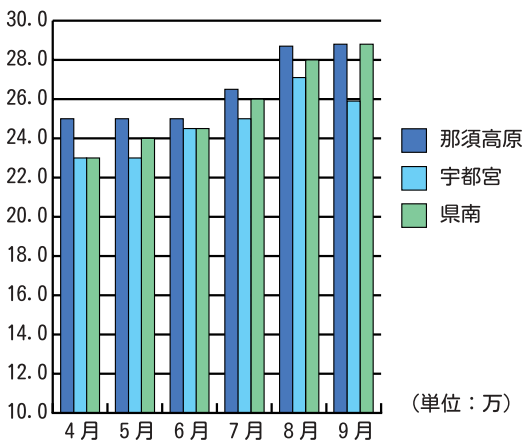
### ◆ 無脂乳固形分率の推移



### ◆ 脂肪率の推移



### ◆ 体細胞数の推移



# 市乳販売部

## 製品紹介シリーズ



現在、市乳販売部で取り扱っている製品は十四銘柄あります。

この中で今回は、県内外と幅広く愛飲されている「酪農牛乳」を紹介致します。

この商品は月間五十万本以上の販売を誇る当組合でも最も売れている自慢の牛乳で、歴史も古く、昭和四十九年に発売以来幾度かのパッケージリニューアルを経ていますが、基本的なデザインは発売当初の面影を残しております。

親から孫まで三世代に亘って飲み継がれており、根強い人気を誇る牛乳です。消費者の方々からも

品質の良さ・風味の豊かさが好評を得ています。

長い歴史を誇る「酪農牛乳」です。未永く愛飲される様、品質管理・製法などの更なる向上を目指して行きたいと思っております。



今後もし引き続き商品紹介をして参ります。

## 酪農部

### サイレイジ共励会審査結果

#### 第二回酪農とちぎグラス・牧草

混播サイレイジ共励会の審査結果が決定しましたので御報告致します。

## 10月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭，千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~300	301~350	351~400	401~450	451~500	500以上
根室 <small>(セル含む)</small>	10月3日	397	458	2	10	34	104	179	68
十勝	10月10日	438	424	21	35	86	134	116	46
豊富	10月17日	346	426	1	32	91	98	104	20
北見	10月23日	318	434	2	12	61	128	88	27
釧路	10月23日	197	424	6	22	41	42	69	17
根室 <small>(セル含む)</small>	10月24日	403	472	2	5	24	76	198	98
合計		2,099	441	34	116	337	582	754	276
前月		2,283	431	35	143	447	761	693	204
前年同月		2,063	448						

出品点数は56点で、分析と審査は県酪農試験場に依頼し、審査の結果上位入賞者は次の通りです。

最優秀賞 植木 孟(今市市)  
 優秀賞 斎藤 修(矢板市)  
 優良賞 古谷 康典(芳賀町)  
 " 小林 隆志(芳賀町)  
 " 大田原孝雄(黒磯市)

他、努力賞五点が入賞しました。尚、表彰につきましては来年六月の総代会時に予定しております。

## 家畜市場成績

市場名：西那須野市場

群馬：館林市場

単位：円

単位：円

開催期日	10月15日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	118	-	75,600	4,200	45,275
F1雄	68	-	174,300	59,850	127,590
F1雌	69	-	123,900	39,900	73,287

開催期日	10月17日				
種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
ホルス雄	12	64	93,000	12,000	64,500
F1雄	13	68	177,000	140,000	155,615
F1雌	3	70	125,000	92,000	106,000



## 九月度理事会

### 報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 農業近代化資金貸付について

### 協議事項

- (一) 八月度事業実績について
- (二) 利益相反契約について
- (三) 検査機器の賃借契約締結について
- (四) 総代選挙の施行について
- (五) 役員研修について

## おしらせ

### 全国ホルスタイン改良協議会主催

第六回全日本B&Wシヨウの開催

- 一、開催日 十一月十三、十四日
- 二、開催場所 静岡県経済農協 連袋井常設家畜市場
- 三、出品頭数 栃木県より十四頭出品

(内、当組合関係十一頭)

### 関東甲信越酪農青年婦人会議

#### 研修会の開催

- 一、開催日 十一月二十七、二十八日
- 二、開催場所 茨城県笠間市笠間 ホテル山の荘

意見発表に、当組合女性会（賀支部）の大島知子さんが発表されます。多数参加されますようお願い申し上げます。

### 情報ネットワーク

次号から「情報ネットワーク」のコーナーを設けます、このコーナーは、組合員の情報交換の場として活用頂くものです。中古酪農器具、機材等で不要になり譲りたい、又、探しています等の情報をお寄せ下さい。

(〇二八 六六〇 二二二三)

酪農部指導課

## 春夏秋冬



今回は、『乳価値上げ交渉』の経過について解説いたします。

平成十四年度飲用乳価の値上げ交渉について、生産者サイドの各ブロック指定団体は、今年はじめ二月(各メーカーに対し大幅値上げ要求キ口当たり五円)を通告した。

この大幅引き上げ要求は、BSE問題によって酪農家が経済的・精神的に打撃を被ったことに加え、『家畜排泄物管理法』で環境規制を義務付けられることへの対応に伴う経費増を主な理由としている。メーカー側も牛乳だけでは経営が成り立たない。ヨーグルト・乳飲

料・デザート類などでカバーしているが、白物で利益を図りたいと考えている。

生乳価格引上げにはそのような事で原資が無いので卸価格を改定し、値上げできるように努力したいとのことであったが、スーパー・量販店での安売りが依然として無くなり、ない現状で、「卸価格の改定」は難しく、乳価交渉は夏場を過ぎ長期化するに至った。

このようななかで、消費物価の下落・デフレの進行が懸念され、とりわけ発泡酒・マクドナルドなど話題商品の限界を越えるような値下げ競争などがあり、乳価値上げ交渉をさらに難しくした。

メーカーが卸売り価格改定値

上げ)を先行すれば、得意先を失うなどの不利益を被るとの恐怖感からお互いに卸価格の改定ができるような流れになるのを待っている状況が続いた。

このような悪環境のなかでの乳価交渉であったが、明治乳業の販売する『おいしい牛乳』の売れ行きが好調なことから、要求とはほど遠い金額ではあるが、利益還元の意味合の値上げ回答が九月三十日行なわれた。

これを契機に他のメーカーの追随値上げ回答を望みたいが、いつまでも待つわけに行かないのは言うまでもない。来年度の再度値上げ要求に期する事となるでしょう。

(W)

## 編集後記

この世で最高の榮譽とされるノーベル賞。科学の偉大な発見や平和への貢献などに対して贈られ、創設者アルフレッド・ノーベルの命日に当たる十二月十日に毎年授賞式が行なわれる。創設から約一世紀を経て權威は揺るぎないものとなった。幼少の頃から「勉強より遊び」と生きて来た私には无缘なものだが、傍若無人なところを改め、自身の平和を心掛けたいものです。

酪農とちぎサツカー部(仮称)が発足しました。久しぶりに走ってみると、悲しいかな、いと簡単に心肺機能が悲鳴をあげます。運動不足とニコチンにやられた肺、そして過剰に育った脂身の仕業と考えられます。しかしながら青空の下で体を動かすのは非常に気持ちの良いもので、すがすがしい気分になれました。良いきっかけを与えて頂いたの、これから徐々に体力の向上に努めたいと思います。

(A)

